

美術科学習指導案

中学校2年 5月

1. 題材名 鑑賞「身近なものにひそむデザインの工夫」（鑑賞物 5種類のクリップ）

2. 考察

(1)教材観

①学習内容：学習指導要領上の位置づけ

主となる内容

- ・ B鑑賞 (1) ア (イ) 目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めること。

②主な伸ばしたい資質・能力（関連する基礎的・汎用的能力）

- ・ 形や色から機能性の特徴を捉え、目的（場面）との調和という視点で作品とより深く向き合う力。
- ・ 対話的な活動により自分の価値意識をもって批評し合い、より幅広く作品の見方や感じ方を深めていく力。

③そのために必要な指導・学習活動

実際に身近な文房具（クリップ）5種類を提示し、第一印象でどのクリップに魅力を感じるかについて意見を出し合う活動を行う。次に実際に5種類のクリップを使用する場面を考えることを通して、その機能性に気付かせる。最後の活動として、目的（場面）を設定して鑑賞する活動を行う。このような活動を通して、各文房具に機能性が活きる目的（場面）があるということに気付くことができるようにする。そしてその機能性のよさや美しさを感じることができるようにする。

④今後の学習の活用

本時の学習で深めた作品の見方や感じ方は、2学期に行う制作活動「魅力が伝わるパッケージデザイン」の発想や構想に繋がる。ここでは使う目的や条件などを考え、生徒がパッケージデザインの主題を生み出すことや、色や形が生み出す効果（機能）やその美しさを独創的・総合的に考え、構想の学習に働くようにする。さらに、他者の考えを聞き自分の考えを広げることや他者との考えを共感することを、今後の鑑賞活動や制作活動につなげていきたい。

(2)生徒の実態及び指導方針（〇名）

① 生徒の実態

本学級では、学級の全員の生徒が身の回りのものを自分で選んでいると回答した。しかし、選ぶときの要素として色や形を重視して選んでいる生徒は16%であった。機能性を重視している生徒は36%であった。このようなことから形や色、機能性といったことを意識して身近なものを選んでいる生徒は少ないということがいえる。本時の学習で、身近な物を形や色、機能性といった視点で見ることや、その機能が活きる場面があることに気づけるようにしていきたい。

② 指導方針

○対象の文房具の色や形・機能性の特徴（動物の形をしている、いろいろな色がある）ことを感じられるようにするために、実物を班ごとに提示する。

○用途は同じだが、異なる形、色彩、機能性であることによってどのような効果があるかについて考えさせるために以下3つの場面を設定する。

ア ワークシートの写真を見て第一印象で「買いたい」と思うものと、その理由を発表する場面。

イ 各班に実物の文房具を提示し実際に使用し、機能性（使いやすさ・外観の良さ）を気づき、話し合う場面。

ウ ①、②を行った後に場面設定に応じてクリップを選択し、理由を話し合う場面。

3. 題材の目標

形や色の視点から機能性の特徴を捉え、目的との調和という視点で感じ取り、自分なりの根拠をもって選択する力を育てる。

4. 評価規準

関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
鑑賞活動に意欲的に取り組み、機能性やデザインの工夫を味わおうとしている。			形や色彩、材料、機能性に着目し、場面に応じて選択することを通して、目的と機能との調和について感じとっている。（課題対応能力）

5. 本時

(1)ねらい

形や色の視点から機能性の特徴を捉え、目的との調和という視点で感じ取り、自分なりの根拠をもって選択する力を育てる。

(2)授業改善の視点

「留めたものを保管するとき」などといった具体的な使用を考えていく場面で、目的に適したクリップを選ばせその理由を考えさせたことは、色や形、機能性と目的という視点をもって選択する力を育てるために有効であったか。

(3)準備

教師：ワークシート、クリップ（実物5種類）、クリアファイル、クリップを使用するための紙

生徒：筆記用具

(4)展開

学習活動 T:教師の言葉 <予想される生徒の反応>	時間	指導形態	指導上の留意点及び支援・評価 ◎努力を要する生徒への支援 ◇評価
------------------------------	----	------	-------------------------------------

<p>1 筆箱をどのような視点で選んでいるかということを考える。</p> <p><予想される生徒の反応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・好み 使いやすさ 	1分	一斉	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞物が身近な文房具であることでの伝え、本時の学習の見通しを持たせる。 ・生徒に「なぜそのデザインの筆箱を買ったのか」と聞くことを通して無意識のうちに見た目や使いやすさを重視していることに気付かせる。
<p>2 今日の鑑賞物(クリップ)と本時の学習のめあてを知る。</p>	4分		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が想像するものとかげ離れたクリップを提示することで意外性といった意味での興味を持たせる。 ・「機能性」という言葉は生徒にとってあまりなじみのない言葉なので、「使いやすさ」「働きの度合い」という意味を丁寧に確認する。
<p>学習のめあて：形や色、機能性と目的(場面)といった視点で身近な物のよさを感じ取ろう</p>			
<p>3 5種類のクリップを鑑賞し、買いたいと思うクリップを選び、その理由を発表する。</p> <p><予想される生徒の反応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・D「かわいい動物の形だから。」 ・A「強い力で留められるから」 	5分		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒からの意見をデザインの要素(形や色、機能性)に分類していくことで、生徒がデザインの要素をより意識できるようにする。 ・実際に5種類のクリップ提示していくことで考えるための意欲につなげていく。
<p>4 5種類のクリップを使用し形や色、機能性といった視点で感じとる。</p> <p><予想される生徒の反応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Bのクリップは色んな色があってカラフルだ。」 ・「Cは角に留められる。」 	12分	個人 班別	<ul style="list-style-type: none"> ・実物同士を比較し鑑賞することで、それぞれの形や大きさ、色の特徴に気付けるようにする。 ・自分の気付きを視覚化していくために、実際に見たり、使ったりして感じたことや気付いたことを付箋に書き、ワークシートに貼っていく。 <p>◎なかなか特徴に気付けない生徒に対しては、「この色はどう思う?どんな色かな?」「使ってみて感想は?」といった具体的な質問をすることで、特徴に気付けるようにしていく。</p>
<p>5 それぞれのクリップを使用し、ワークシートの場面の時に使用するクリップを選び、話し合い、全体で共有する</p>	22分	個人 班別 一斉	<ul style="list-style-type: none"> ・多量の紙やクリアファイルを各班に配布し、実際にその状況になったときのクリップについて比較し考え・選択できるようにする。 ・実際に渡す相手を生徒自身が設定することで、より現実的にその相手を意識したクリップについて比較し考え・選択できるようにする。

<p><予想される生徒の反応></p> <p>①留めたものを重ねて保管するとき</p> <p>・「D→重ねられるし、可愛いから使いたくなる。」</p> <p>②留めたものを人に渡すとき</p> <p>・「A・B→一般的な形で相手も使いやすいと思う。」</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・個人で考え・選択した後に、班内で情報交換することで、他者の考え方に触れ、クリップにおける見方を広げられるようにする。 ◎なかなか自分の意見が持てない生徒に対しては教師側から具体的な人を設定したうえで質問を投げかける。その答えに対して、「どうしてそのクリップを選んだの?」といった更なる質問をすることで生徒自身が何を重視して選択したものが意識的にわかるようにする。 ・目的（場面）や重視する点によって様々な考えがあることを伝えることで、自分と異なるクリップを選んだ意見に納得できるようにする。そのようなことを通して、多面的・多角的な見方や考え方を育てるようにする。 ◇ワークシート①②の状況や具体的な設定を思考し、それぞれの状況に合わせたクリップを、根拠をもって選んでいる。（関心・意欲・態度）
<p>6 本時の学習を振り返りとまとめをワークシートに記入する</p> <p><予想される生徒の反応></p> <p>「様々なクリップがあることを知った」</p> <p>「場面（目的）によってクリップが変わった」</p>	<p>6 分</p> <p>個人一斉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・十分な時間をとることで、本時の取り組みや考えたことを具体的に記入できるようにする。 ・生徒の言葉を使って学習のまとめをすることで、以下の内容を確認できるようにする。 ①様々な視点で見ることで物の見方が変わること。 ②第一印象で選ばなかったものや、使いにくいと感じたものでも場面（目的）によってはそのクリップの機能が活かせること。 ◇本時の活動を振り返り、それぞれのクリップの色・形・機能性に着目するとともに、場面（目的）に応じて使用するクリップが異なるということに気付いている。（鑑賞の能力）

6. 板書計画

<p>身近なものにひそむデザイン</p>	
<p>学習のめあて</p>	<p>形や色、機能性と目的（場面）といった視点で身近なものよさを感じ取ろう！</p>
<p>クリップ 5 種類の写真</p>	<p><留めたものを重ねて保管するとき></p> <p><留めたものを人に渡すとき></p>